

企業内最賃1500円、2分会が春闘要求提出 こうとう X社のパワハラ、雇止めで雇用継続を確認CU三多摩



まともに暮らせる賃金を 最低賃金は1500円以上に！

2017年春闘は、賃金引上げとともに雇用の安定、が求められています。最低賃金は1500円以上の「声」が広がっています。15日に大手の回答がありました。が軒並み低額回答になりました。政府はこの間、大企業中心に法人税減税や研究開発減税、さらに賃上げ額の一定割合を法人税から控除する賃上げ減税を実施してきました。トヨタはじめ大企業は全体として企業収益の「高水準」を認めています。にもかかわらず、賃上げ要求額に届いていません。地域労組こうとうの二つの分会、栄泉交通分会、ナカジマトーケン分会は「企業内最低賃金」を本年度4月度から

憲法違反の「共謀罪」は 名前を変えてもNO！

「共謀罪」は、監視社会につながります。戦前の治安維持法は、労働組合や宗教者、学生までむ取り締め、モノを言えない戦争国家を生み出しました。過去三度も廃案、今度も必ず廃案にしましょう！

「時間額1500円」の要求書を提出し春闘に取り組んでいます。

真の「働き方改革」の実現を

安倍首相が残業時間の上限を「月100時間未満」とする「裁定」を経団連と連合に示しました。過労死ライン「80時間～100時間」にお墨付きを与えるもです。残業時間は大臣告示で月45時間、年間360時間と定められています。春闘でNO！の声を上げていきましょう。

「駆け込み寺」の力発揮して・

CU東京の役割を発揮し、春闘、春の運動の中で労働相談活動を押し出すことが大切です。今号は三多摩、かつしかの労働相談を紹介しました。写真は外資系生保企業X社前で宣伝活動を行うCU三多摩協議会。

多くの職場で、残業代不払い、パワハラなどが横行しており、「働き方改革」が問われています。春闘の宣伝、学習会などで職場環境の改善を呼びかけましょう。労働相談は、「駆け込み寺」としてのCU東京をアピールしましょう。

X社のパワハラ、雇止め 解決と雇用継続を実現

CU三多摩協議会



ハローワークに企業調査・指導を要請

Bさんから「(共産党市議を通じて)職場の上司によるパワハラと雇止め問題」の相談を受け、CU三多摩が対応したのは2016年9月。そして今年2月、企業が職場からのパワハラ根絶への取り組みを開始し、あわせてBさんの雇用継続を実現する解決が図られました。

Bさんは2014年10月、障害者枠(精神障害3級)で外資系生保企業のX社に契約社員として採用。契約は「期間満了で雇用継続なし」を前提としたものです。その上、職場の上司によるパワハラがひどく、16年6月にはうつ病になり病休。3カ月後に職場復帰しましたが、再び暴言や叱責が続き病休。これを理由に次回契約不更新の雇止め通告をされました。組合は、パワハラ防止の緊急性から、雇用窓口のハローワークに企業の調査・指導を再三にわたり要請。結果、ハローワークは会社の事実確認に入り、労働組合の関与も企業に伝え、職場からのパワハラ根絶を指導。

仲間と一緒に安心して働けるのがうれしい

今回の解決は、Bさんの「働きたい熱意とパワハラ実態の録音による証拠保全」が決定打となりました。Bさんのコメント「おかげ様で来年度の契約が更新される事になり、ありがとうございます。CUに加入し雇用継続ができ、職場のパワハラも解消されるようです。私の契約更新もうれしいのですが、何よりも職場のパワハラがなくなり仲間と一緒に安心して働けるのがうれしい。労働組合に団結してたたかう事の力強さを実感できました」と喜びを語っています。(書記長 三宅記)

要求実現に向け団体交渉 人格まで否定する違法行為許さない

CUかつしか支部

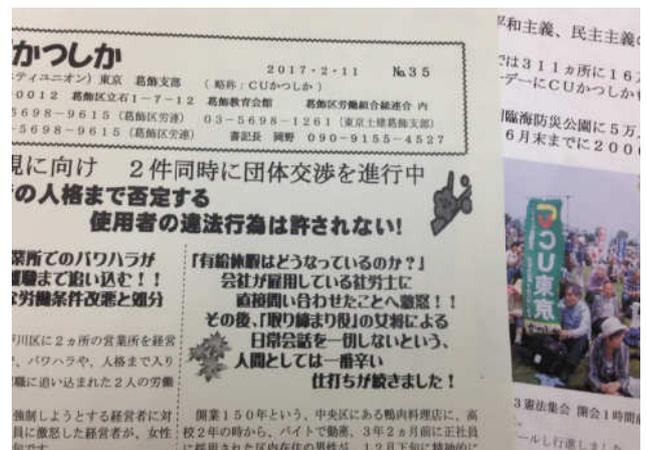
2件同時に団体交渉

4月に結成5年目を向かえるかつしか支部(CUかつしか)は、今、労働相談で奮闘しています。相談を受け感じることは、労働者の個人の尊厳、存在、人生まで平気で否定してくる使用者・職場が多いということです。

今、団体交渉は2件進めています。どちらも、会社は弁護士をたててきました。老舗の合鴨料理店での、早出出勤などに対する未払い賃金の支払い。デイサービス営業所でのパワハラで、離職に追い込まれた労働者2人の闘い。コンビニ大手店舗での、早出出勤に対する賃金の未払い。給料から所得税分として「天引き」されていたのに、税務署から督促状がきた労働者との税務署への要請行動・・・地域の中での、「駆け込み寺」としての役割の大きさを感じ、組合員の要求実現の為、かつしか支部もがんばっています。

減らさず前進、団体に支援要請

かつしかでは支部ニュースを全員に届けています。今回の労働相談も進行形の形で組合員に伝えています。組合員から近況含め、反応が寄せられています。4月1日は支部大会。労働相談と地域の共同の組織の協力で、組合員は40人になりました。東京土建葛飾支部、新婦人、年金者組合、共産党などと懇談をすすめてきました。大会では労働相談の成果、他団体との懇談、組合員拡大など討議し、新たな前進を目指します。(岡野記)



メッセージカード+チョコレート配り バレンタイン宣伝2月17日

CU 渋谷支部



代々木駅でのバレンタイン宣伝2月17日

3月1日現在152人

CU東京渋谷支部は、昨年7月の第5回大会を130人で迎え、第4回大会で決定した第6回定期大会までに200人の到達を目標とする方針を再確認。秋の拡大月間を中心に毎月成果を重ね、脱退等もありましたが、3月1日現在152人となりました。

拡大運動の大きな柱は、宣伝行動です。大会後、毎月代々木駅での定例宣伝や様々な工夫を凝らした昼休み宣伝、地域宣伝など18回、のべ104人が参加、44カ所で6880枚のチラシを配布し、チラシを見ての加入や問い合わせがありました。

お茶の差し入れで激励

2月には、バレンタインデーにちなんで、いつものポケットティッシュに加えてメッセージカード+チョコレートを配るバレンタイン宣伝を2月17日と19日に行いました。当初9日の計画が雨で17日になった宣伝は、代々木駅で6人が参加、昼休みの1時間に350個を配りました。「人間らしい生活と働きがいを持って安心して働き続けられる社会を実現するための方法」を、労働組合から「愛をこめてプレゼント」として、最低賃金の大幅引き上げや長時間労働撲滅、憲法守る野党と市民の共同、そして組合加入などを訴えると話しかけてくれる人もいて、おじさんがお茶の差し入れで激励してくれました。19日は午前中に5人で、渋谷駅ハチ公前やセンター街で宣伝し、320個を配りました。ハチ公前は、ものすごい人の流れでしたが、センター街入口では次々と配布できました。また、センター街を

ねり歩き、大いに注目を集めました。

16組合に協力を訴え

宣伝のほか、拡大組合オルグを10月7日と12月8日に行い、のべ10人で16組合に協力を訴えました。拡大の成果は、労働相談や個別組合との懇談、個人の繋がり等から加入しています。

今後のとりくみとして、春の拡大月間は3～6月とし、11回の未組織宣伝、要求行動としての最賃宣伝・署名行動、2回の組合オルグ、そして、4月には、お花見&バーベキュー交流会を計画、また、みつめてみよう ボクらのシゴト はたらくみんなの渋谷集会 ～人間らしく、自分らしく～の10月開催へ実行委員会にも取り組み、次期大会までに200人をめざして 頑張る決意です。(熊田記)

中野支部結成は4月17日



CU中野準備会は、4月16日に結成大会を開く事を確認し、3月6日に準備委員の3人で区内の7団体に結成大会案内と加入呼びかけを行いました。

この時期は確定申告の実務等に追われている方、団体もいて落ち着いた説明は困難でしたが、「CU東京は知っている」、「あとで詳しく話を聞きたい」との反応もあり、当初の目的は達成されたと感じました。この後、3月24日夕方から中野駅での春闘要求とCU加入を呼びかける宣伝行動を予定しており、中野区内に「CUの旗」の立ち上がりへの期待が膨らんでいます。(写真は健友会の飛岡総務部長へ案内と申し入れをする中野支部準備会の菊地さん)

**今すぐ、どこでも時給1000円以上への
引き上げ、東京で早期に1500実現を求
める要請** 最低賃金の大幅引き上げを求める署名

国民春闘・東京春闘で最賃署名に取り組んでいます。春闘・春の運動の中で組合員に、働く仲間呼びかけましょう。みんなで声を出して集めましょう。

東京ディズニーリゾート・ コーポレートプログラム 利用券 (1000円の補助券) ご存じてすか。活用ください。



CU東京の共済では、組合員の福利厚生活動の一つとして、「東京ディズニーリゾート・コーポレートプログラム利用券」を活用し、組合員、家族の福利厚生に役立てる活動を行っています。

割引内容と利用方法は次の通りです。

【利用券 (1000円の補助券) の利用方法】

組合員は、ディズニーランド、ディズニーシーのパークチケット購入の際に、「利用券」を利用者一人につき1枚 (1000円の補助) 利用できます。

☆組合員は、利用人数分の枚数を支部に申し込みます。

☆利用券は 申込枚数が、本部より組合員本人の住所に郵送されます。

☆利用券は、年間5枚 (人数、回数の合計) を上限とします。

☆利用券には、組合員の氏名を記載します。

【利用期間 2017年4月1日～2018年3月31日】

★「東京ディズニーリゾート・ コーポレートプログラム利用券」 プレゼントキャンペーン

2017年4月1日から7月7日「利用券」を使って来場した方に抽選でプレゼント、ディズニーのバッジやトートバッグなどが当たります。

「チラシ」を参照ください。

共済拡大と組織拡大を！ 共済で組合員の生活サポート

第8回共済拡大全国交流集会開催

2月19、20日全国から136人の参加で交流

全労連共済会・全国労働組合共済活動推進協議会の主催で2月に開催されました。基調報告を受け、建交労共済会、郵政ユニオン共済会、京滋労共済会、全労連千葉共済会が活動報告、分散会などが開かれて取り組みを交流しました。

火災共済、自動車共済のキャンペーンのとりくみ、「生命、医療、シニア共済」の新制度スタートを生かしたとりくみ、また、自転車保険のとりくみを提起しました。

各組合で「共済学校」や学習会を

共済活動は労働者の要求であり、権利です。組合で共済の「共済学校」・学習会に取り組むことを呼びかけました。組合の活動の柱の一つに位置づけ、担い手づくりが大事で、一人一人の組合員と話して伝えていく活動は、組織強化につながることを強調されました。

CU東京は共済活動を大切にしています

CU東京は、共済活動を重視をし、組合員の万が一の時のサポートする入院共済を実施しています。同時に全労連共済も積極的に案内しています。全労連共済のパフレットを活用ください。また、東京労働共済会の独自の自転車保険も案内していくことにしています。

■「森友学園」をめぐる問題は、次から次と疑惑が広がり、「100万円」寄付も飛び出し安倍首相は渦中の中心人物に。稲田防衛大臣の顧問弁護士活動など関係の深さに驚きます。政権の中樞が問われています。■「働き方改革」は「働き方改悪」。経団連と連合の話し合いで月100時間の残業など過労死容認です。今、春闘は真っ盛り、労働者の要求、国民の要求を突きつけ、みんなで声をあげましょう。■組合員は3月17日現在1066人です。春闘、宣伝・オルグ活動、労働相談などなど旺盛に取り組まれています。貴重な活動があふれています。原稿をお寄せ下さい。